

投与プロトコール 1コース 21日間 アービタックス:制限なし、パクリタキセル+カルボプラチン:6コース 《開始時基準 PS:0~1 年齢:20歳以上》		投与量	投与日	投与時間	備考	
ルートKeep	生食 500mL	—	day1,8,15	—		
プレメディ	ホラミン5mg+5-HT3受容体拮抗薬+H2-blocker+デキサメタゾン+生食100mL		day1,8	30分		
	ホラミン5mg+デキサメタゾン+生食100mL		day15	30分		
①	<b>パクリタキセル: 100mg/m<sup>2</sup></b> 生食250mL	mg	Day1,8	1時間		
②	<b>カルボプラチン:AUC(2.5)</b> 5%ブドウ糖 250mL	mg	Day1,8	1時間		
フラッシュ	カルボプラチン投与終了後にルートキープ用生食でフラッシュを行う。					
③	<b>アービタックス:</b> <b>初回: 400mg/m<sup>2</sup></b> 生食(500-アービタックス注入量)mL	初回 mg	Day1,8,15	初回 2時間		
	<b>2回目以降: 250mg/m<sup>2</sup></b> 生食(250-アービタックス注入量)mL	2回目以降 mg		2回目以降 1時間		
経過観察 (1時間)	アービタックス投与終了後、ルートキープ用生食でフラッシュ:アービタックスの投与速度と同じ速度(4mL/分)以下で。以降、infusion reactionの発現に注意し、1時間経過観察。					
6コース終了後も治療を継続する場合は、アービタックスのみの投与を行う。 カルボプラチン投与量 = AUC(2.5) × (CCr+25) CCr算出にはCockcroft-Gault式を用いること ただし、CCr上限値:125mL/minとして投与量を算出する						